

環境マネジメント

岐阜トヨペットは2002年より環境に関する国際規格（ISO14001）の認証を取得（県下業界初）、順次適用範囲を拡大し2019年には本部管理部門と14店舗にて認証取得しています。これからも人の願いと車を結ぶために、そして、人と自然と車がいつまでも一緒に走り続ける社会、「緑」「安心・安全な街」「きれいな街」「クリーンな未来」の実現を目指して、走り続けます。

環境マネジメント組織図



環境方針

- 事業活動を行うに当り、環境への負荷を正しく認識し低減に資するよう、全社員で積極的かつ継続的に環境改善に取り組む。
- 環境保全は、汚染発生の原因究明が基本と考え常に教育、訓練に努め技術の修得により再発を防止し、汚染の予防を図る。
- 事業活動において率先し省資源、省エネルギー、リサイクルの推進に努め、廃棄物の発生削減に取り組む。
- 環境に関する法律、規則、協定等を順守しさらに自主基準を定めて、環境保全レベルの向上を図る。
- お客様への車に関する環境情報を積極的に提供し、低公害車・低燃費車の普及に努める。
- 地域社会への貢献を大切にし地域の環境保護活動に協力する。

環境マネジメント（ISO14001）の取り組み

2020年3月に本社管理部門、長良店、大垣西店がISO14001の認証取得し、その後岐南店・各務原店・美濃加茂店・大垣店・レクサス長良・多治見店・高山店・県庁前店・関店・恵那店・岐阜東バイパス店・土岐店で認証範囲を拡大しました。また、2016年の定期審査において、ISO14001（2015年度版）への移行をしました。

2019年度 内部監査



2019年度 ISO更新審査



排気ガス、燃料消費を低減するため、低公害車・低燃費車の普及に努める

①ハイブリッド車の増販

地球温暖化の原因とされるCO₂の排出を抑えた、HV、PHVの販売。排気ガスを出さない燃料電池車（FCV）の販売に取り組んでいます。



②プラグインハイブリッド（PHV）車用充電スタンド（G-Station）を全店舗へ設置。



廃棄物対策

廃棄物の適正処理
①確実な処理業者を選定する等、出てくる廃棄物を処理するだけの行為から、排出を抑制し、資源の再利用化を前提に分別回収、環境負荷を低減する活動に取り組んでいます。



産業廃棄物置場

適性廃棄物保管場所の改善
②分類ごとに仕切りを設置し、排出時の分別を実施しています。
③廃棄物が雨に濡れないよう屋根を設置し保管しています。
④廃棄物からオイル等が流出しないよう前部を高くしたり、油溜めを設置し、外部へ流出しないようにしています。
⑤有害物質が床下に浸透しないよう、更に清掃しやすいように床面はコンクリート実行しています。
⑥廃棄物置場は廃棄物回収業者のトラックが出入りしやすい場所に設置しています。



分類ごとのゴミ箱の設置

エネルギーの削減

地球温暖化を防止する国民運動
「チャレンジ25キャンペーン」に協力しています。

COOLBIZ 実施期間 5月7日～10月31日

28℃の室温でも涼しく効率的に働くことができる夏のビジネススタイルを推進。

WARMBIZ 実施期間 11月1日～3月31日

室内温度の設定を「21℃」より1℃下げ「20℃」とし、暖房に頼りすぎず、働きやすいビジネススタイルを推進。



電力デマンドシステムの導入

土岐店・レクサス長良にて、電力をみえる化し、ピーク時の電力を抑制するようにしています。



デマンドシステム 管理モニター

緊急時への対応

※緊急時とは：・地震・火災・有機物が敷地境界線を越える、または超える恐れがある場合。

- ①油の流出等が確認された場合の緊急備品を設置し、流出の拡散防止を図れるように準備しています。
- ②緊急連絡ルートを作成し、緊急時に早急な連絡・報告を行えるようにしています。
- ③年1回の油等の流出を想定した緊急訓練を実施し、緊急時の迅速な対応が出来るようにしています。



緊急訓練の様子



整備工場に設置した緊急備品

近隣の環境保全

- ①特定設備に係る、振動・騒音の確認把握。
 - ・毎週金曜日に、重点管理日常点検表による機器の点検をし異常がないか確認をしています。
 - ・年1回の振動・騒音測定の実施しています。
- ②静音・節水タイプの洗車機を導入し近隣住民の皆様へ騒音低減等の配慮を行っています。
- ③静音タイプのエアコンプレッサーを導入し、振動・騒音の低減に取り組んでいます。



静音・節水タイプの門型洗車機



静音タイプのエアコンプレッサー